

ボートレースの話題が集まるメディア向け情報誌

プロペル PROPEL



BOAT VISION

女子レーサーによる
大晦日決戦

SOCIAL RELATION

ボートレーサーによる
チャリティ活動

BOATRIVIA

水も変われば
レースも変わる？

2016 **12** Dec.
ボートレースPR情報誌

SG NAVI

グランプリ&シリーズ

1億円をかけたボートレースの頂上決戦!

開催迫る!

グランプリ&シリーズ 1億円をかけたボートレースの頂上決戦! 開催迫る!!



12月20日から25日まで、ボートレースの頂点ともいえるレース、第31回グランプリ&グランプリシリーズが開催される。場所はボートレース住之江(大阪府)だ。年間獲得賞金額が上位の選手のみが出演し、優勝賞金1億円を狙う。レーサーにとって、そしてファンにとっても、熱く燃え上がるレースが繰り広げられる!



2015年にボートレース住之江で開催されたグランプリ表彰セレモニーの様子

年間獲得賞金上位 18人が出場

グランプリ(GP)に出場できるのは、直前に開催されるSGチャレンジカップの最終日(2016年度は11月27日)までの年間獲得賞金上位の18人。例年5,000万円から、多ければ1億円前後の賞金額を稼ぎ出しているレーサーたちだ。GPは、その年の頂点を決定するレース、故に強豪レーサーは、このグランプリ出場を目指して1年間を戦い抜く。獲得賞金額はレーサーにとって強さのバロメーター。グランプリの大舞台を勝ち抜けば、優勝賞金「1億円」が待っている。

僅かの差で 出場逃すケースも

ボートレースの賞金額は、レースのグレード(格)によって決まってくる。上からSG、GI、GII、GIII、そして一般戦という合計で5つのグレードがあり、それぞれの標準的な優勝賞金額は表の通りだ。GPに出場する年間獲得賞金上位18人は、グレード上位のレースはもちろん、通年で結果を残す選手がほとんど。たがいに金額が拮抗し、時には僅か数万円の差でGP出場を逃すこともあるので、レーサーはいかなるレースであろうと手を抜かない。

■ボートレースの優勝賞金額

グレード	優勝賞金額
SG	2500万円~1億円*1
GI	450万円以上
GII	400万円
GIII	100万円以上
一般戦	64万円以上

*1:GPシリーズは1600万円

一走たりとも 気を抜けない緊張感

GPは通常のSGとは異なったトライアル方式という形で開催される。最初の2日間は年間獲得賞金7位~18位のレーサーが戦う。ここで勝ち残った6人に賞金1位~6位のレーサーが加わって3日目から5日目までを戦い、優勝戦出場メンバーを決める。勝ち残った6人は最終日の12Rで1億円をかけたレースに挑むことになる。優勝戦に勝ち進むためには一瞬たりとも気を抜くことはできず、上位を目指す緊張感に包まれる。ファンにもその緊張感がひしひしと伝わり、独特の雰囲気醸し出す。年末の大一番で1億円をつかむのは誰か!? その瞬間が、もうすぐに迫っている。

what's SERIES? シリーズってナニ?

並行して開催されるグランプリシリーズ

年間獲得賞金19位以下の上位レーサー42名で開始されるグランプリシリーズは、グランプリと並行して開催される。1日のうち1Rから10Rまでがこのシリーズ、11、12Rがグランプリだ。シリーズは他のSG同様、予選→準優勝戦→優勝戦という開催スタイル。ただし、3日目からはグランプリで脱落した6人が加わってくる。なお、優勝賞金額は1600万円となっている。

出場レーサーの顔ぶれ

2016年年間獲得賞金ランキング

順位	レーサー名	出身	獲得賞金額(円)
1位	石野 貴之	大阪	114,769,800
2位	菊地 孝平	岩手	97,610,500
3位	瓜生 正義	福岡	97,591,000
4位	坪井 康晴	静岡	84,565,000
5位	桐生 順平	福島	81,607,000
6位	松井 繁	大阪	76,181,000
7位	平本 真之	愛知	72,389,000
8位	山崎 智也	群馬	70,064,000
9位	井口 佳典	三重	69,548,000
10位	池田 浩二	愛知	68,052,000
11位	篠崎 元志	福岡	66,731,000
12位	岡崎 恭裕	福岡	65,198,000
13位	篠崎 仁志	福岡	62,884,000
14位	辻 栄蔵	広島	61,859,000
15位	白井 英治	山口	60,198,080
16位	太田 和美	奈良	56,161,000
17位	重成 一人	香川	54,870,000
18位	魚谷 智之	兵庫	53,349,000

11月27日現在

今年の獲得賞金上位18位は表の通り。この18名がグランプリに出場する。この中で、今年のSGに優勝したのは坪井康晴、平本真之、山崎智也、石野貴之、菊地孝平、瓜生正義の5人。やはり優勝賞金が高額なSGでの優勝がGP出場への近道となっている。石野はオーシャンカップとチャレンジカップ、2つのSGで優勝し獲得賞金額がトップとなった。

※病氣やケガなどにより、出場レーサーが変更になる場合があります。



過去10年の賞金王

過去15年の年間獲得賞金1位選手

年	レーサー名	出身	獲得賞金額(円)
2001年	田中信一郎	大阪	211,750,000
2002年	植木 通彦	福岡	284,184,000
2003年	田中信一郎	大阪	229,840,333
2004年	今村 豊	山口	188,120,200
2005年	辻 栄蔵	広島	189,473,800
2006年	松井 繁	大阪	228,005,000
2007年	魚谷 智之	兵庫	205,374,000
2008年	松井 繁	大阪	212,593,000
2009年	松井 繁	大阪	251,204,000
2010年	中島 孝平	福井	193,812,000
2011年	池田 浩二	愛知	250,854,000
2012年	山崎 智也	群馬	163,512,000
2013年	池田 浩二	愛知	198,233,000
2014年	菊地 孝平	岩手	169,549,000
2015年	山崎 智也	群馬	229,330,000



表は、過去15年間のボートレースの年間最高賞金獲得者だ。元選手の植木通彦氏の名が02年にあるが、この年の2億8418万4000円は過去最高の年間獲得賞金額でもある。この年の植木氏は年間SG3勝、GI1勝という成績を残している。過去3度グランプリを制している松井繁は過去12回のSG優勝、通算獲得賞金額が35億円を超え、歴代ナンバーワンで、ファンから「絶対王者」と呼ばれている。



昨年のグランプリでは1号艇の山崎智也が優勝。自身2度目の制覇だった



毎年、グランプリには非常に多くのファンが観戦に訪れる。写真は2014年にボートレース平和島で開催された際のスタンドの様子



獲得賞金12位までの女子レーサーが出場

ボートレーサー全体の平均年間獲得賞金額は約1600万円。しかし、このクイーンズクライマックスに出場する女子レーサーは全員が2000万円を超えていて、3000万円を稼いでいるレーサーさえ何人かいる。そういったレーサーは年間を通じて活躍していることが多い。



クイーンはティアラ戴冠とダイヤモンドジュエリー贈呈

優勝者は賞金の他に、クイーンの証となるティアラを戴冠することになる。さらに日本財団会長賞として、ダイヤモンドジュエリーも贈られる。今年にはハリー・ウィンストンのネックレスで、過去にはティファニーや銀座・和光など様々なブランドのジュエリーが贈られている。



レースの対戦形式は特別

レースは、グランプリと同様にトライアル方式と呼ばれる特別な勝ち上がり方法で行われる。12人のレーサーは1日1回のレースを3日間行い、着順による得点が高いレーサー6人が、最終日の優勝戦に進出できる。優勝戦に進出するために上位を狙い、一瞬たりとも気を抜くことが出来ない、緊張のレースが続く。



枠番は抽選で決める

ボートレースは6艇で行われ、内側のコースほど有利だ。そして枠番が小さいほどその有利なコースからスタートしやすい。クイーンズクライマックスでは初日こそ獲得賞金額の順番に枠番が割り振られるが、それ以降のトライアルでは毎日抽選で枠番が決める。レーサーがその抽選に一喜一憂するシーンは、このレースの名物でもある。

クイーンズクライマックス
QUEENS CLIMAX

12月28日からボートレース平和島(東京都)で、プレミアムGIクイーンズクライマックスが始まる。200人以上の女子レーサーのうち、年間獲得賞金額の上位12人だけが出場を許される、女子レースの最高峰ともいえるレースだ。優勝戦が行われるのは12月31日の大晦日。文字通り、ボートレースの1年を締めくくる祭典として、大きな盛り上がりを見せる。ここでは、クイーンズクライマックスのあれこれを紹介する。

女子レーサーによる 大晦日決戦 年末最後の大一番!!

クイーンズクライマックスシリーズ

クイーンズクライマックスに先駆けて26日から行われるのはクイーンズクライマックスシリーズ。このシリーズには獲得賞金13位以下の42人が出場する。ギリギリで上位を逃した実力者や、若くて売り出し中の女子レーサーも多数走る。こちらも華やかな雰囲気、見逃さない。



今年で5回目の開催

クイーンズクライマックスは2012年に新設されたレースで、今年で5回目を迎えることになる。2014年からは大晦日が優勝戦となり、年末最後のボートレースの風物詩となりつつある。



過去4回のクイーン

記念すべき第1回の優勝者は、華麗な旋回テクニックで知られる三浦永理。第2回はデビュー早々から勝利を重ね注目されてきた平山智加が優勝。第3回を優勝してティアラを戴冠したのは、50歳を超えても第一戦で活躍を続け、「グレートマザー」の別名でも知られる日高逸子。昨年の第4回大会にはデビュー同期の3人が優勝戦に進出、川野芽唯が見事に制した。



優勝賞金額は1000万円

クイーンズクライマックスの優勝賞金額は1000万円。2013年に優勝した平山智加は、この賞金を加えたことで年間の獲得賞金額が5000万円を超えた。なお、女子の過去最高の年間獲得賞金額は2001年に寺田千恵(福岡)が記録した6721万5000円。



第1回レディースオールスター開催!!

ボートレースの女子戦には、この他にもいくつかの大きなレースがある。今年度新設されるレディースオールスターは、ファン投票によって出場選手が決められる。人気と実力を兼ね備えた選手が集う注目の第1回大会は、来年の2月28日からボートレース宮島(広島県)で始まる。そのほか、勝率上位者が出場するGIレディースチャンピオンは8月の開催。クイーンズクライマックスへの出場者決定戦ともいえるGIIレディースチャレンジカップは11月に行われる。

ボートレーサーによるチャリティ活動。 ヤフオク!での実施歴は既に150回以上!

ハンセン病制圧や 災害援助のため日本財団と 協力して実施

レーサーをはじめボートレース業界はボランティアやチャリティ活動への関心が高い。そのひとつがチャリティオークション。レーサーの統括機関である日本モーターボート選手会が日本財団と共にやっているハンセン病制圧チャリティなどの他、様々な機会に実施されている。



チャリティオークションはレース場のイベントの他、レーサーがファンを招いてのイベントなどでも行われる



ボートレーサーの使うヘルメットは特製品だ。オリジナルのペイントを施したものがほとんど



オークション出品のグッズとして人気の高いSGジャンパー。多くは出品レーサーの直筆サイン入りだ



レーサーが使ったボートのプロペラは、置物として飾るファンもいる

ボートレースチャリティオークション 過去の高額落札商品

出品回	レーサー名	出品物	落札額(円)
第1回	寺田千恵	サイン入りSGジャンパー	402,000
第2回	松井 繁	サイン入りグランプリ用ジャンパー	201,000
第18回	松井 繁	ジャンパー	222,000
第41回	山崎智也	直筆サイン入りプロペラ	176,020
第71回	永井聖美	直筆サイン入りヘルメット	161,000

ヤフオク! 黎明期から ネット利用のチャリティ

選手会が日本財団と共にヤフオク上でチャリティオークションを始めたのは、2001年のこと。日本のヤフオクそのもののスタートが1999年のことなので、ネットオークション黎明期から、それを利用したチャリティ活動を行っていたことになる。以来、実施回数は156回を数え、現在も継続して行われている。

1度のオークションで総額100万円を超える落札額に達したこともあり、累計の落札額も5,200万円を超え、またレーサーたちが出品したグッズの数はおよそ4,000個に達している。集まった金額は、ボートレースチャリティ基金として、さまざまな支援等に活用されている。

人気の高いレーサーグッズ レース場等での実施も多い

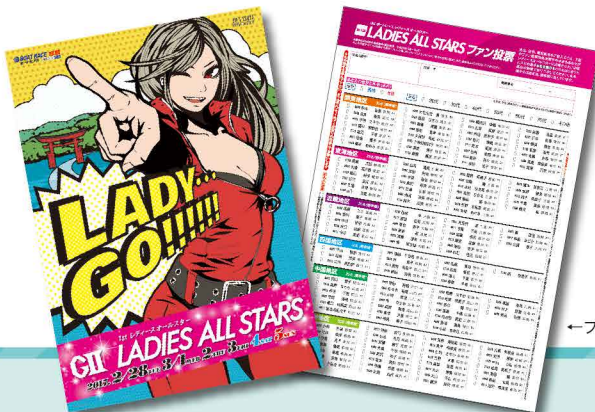
レーサーがオークションに出品するグッズには、実際に使用したものもある。ヘルメットやプロペラ、SGレース出場者に支給されるジャンパー、レーサー達で作ったオリジナルTシャツ、さらには優勝した際に獲得したトロフィーなどもある。一般には販売されていないレアなグッズがほとんどで、レーサーの直筆のサインが添えられていることもファンの気持ちをそそるようだ。

ネット上ばかりではなく、レース場のイベントやレーサーが独自に実施するチャリティオークションもある。レーサー自身が姿を見せるケースでは、オークション入札の掛け声も多く、大いに盛り上がるようだ。

PICK UP RACE

第1回レディースオールスター ファン投票実施中!

ファンの投票によって出場選手が決まるGIIレディースオールスター。今年度が初めての開催でインターネット、スマホ・携帯電話による投票は12月31日まで。また12月30日を「全国一斉ファン投票の日」とし、この日だけ、全国のレース場と場外発売場においてマークシートにて投票ができる。



←ファン投票用紙

これからの
注目レース!

水が変わればレースも変わる?

“ボートレース場の水面は24場それぞれ”

海水、淡水、汽水 水質もレースに影響?

ボートレースは1周600mの水面を3周する競技で、競走水面にはターンマークと呼ばれる目印が2つ設置され、その間は300mの距離がある。これは全国に24あるレース場で、すべて同じだ。ただそれ以外には、レース場により様々な点で異なることがある。

まず、水質が異なる。大きく分けると海水、淡水、それに海水と淡水がまじった汽水の3つがある。同じ水だから大した違いはないのではと感ずるかもしれないが、実際に走るレーサーにはかなり影響があるという。海水は塩分が含まれているために淡水よりも浮力が大きく、ボートを操りやすいと感じるレーサーが多い。また普通は体重の重いレーサーは不利とされるが、海水だとそのハンデが和らげられる。淡水の場合はボートの操縦もしにくく感じられるという。

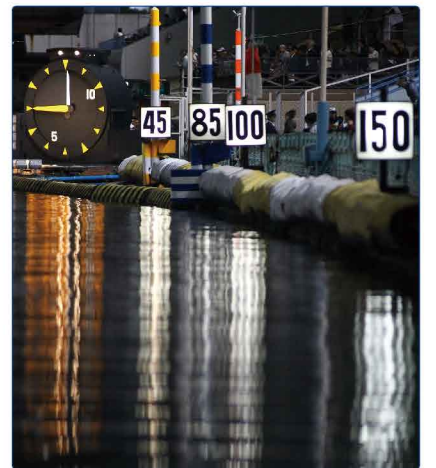
海、プール、河川、湖… レース場がある環境も違う

水質が異なるのは、レース場が設置されている環境が違うからだ。海面に設置されたレース場、人工のプールを作りレース場としていたり、湖の一角に設置されたレース場、そして、川そのものがレース場のところもある。

海に作られていると、多くの場合、潮の満ち引きの影響を受ける。一般に水が深いと乗りにくいと言われ、潮の干満により水面のレーサーから見える景色も異なるのでスタート感覚が変わり、注意が必要になる。また水面にうねりが出ても走りにくくなる。

人工のプールであれば、自然の影響を受けることが少なく、水面が穏やかな状態で、まるで水面が鏡のようないわゆる「静水面」のレース場もある。

このようにボートレース場によって様々な違いがある。ファンはこの違いも意識しながら、レースの予想をしているのだ。



今年のグランプリが行われるボートレース住之江(大阪府)。観客席からの距離が近くレースの迫りを感じられる



琵琶湖の一角にあるボートレースびわこ(滋賀県)の水面。レース場近くまで観光船が近づく



日本一の静水面と言われるボートレース多摩川(東京都)。水は地下水を利用している



ボートレース江戸川(東京都)は、河川上に競走水面がある



夜間照明が映えるボートレース丸亀(香川県)。干満は大きく、1日の中でも水位が変わるのが分かる



ボートレース福岡(福岡県)は那珂川の河口にあり、汽水の水面。海水が入り込んで水面にうねりが出ること



淡水のプールが水面のボートレース唐津(佐賀県)。時に水を抜いて水質を保っている



ボートレース平和島(東京都)は海水のレース場。人工の滝が名物となっている

日本財団の紹介



日本財団に関する情報はこちらから ▶ <http://www.nippon-foundation.or.jp/>
 日本財団会長 笹川陽平ブログ ▶ <http://blog.canpan.info/sasakawa/>

民の立場から公への貢献をモットーに内外の現場で公益活動を実践。
 年の三分の一を海外活動に充て、
 海外情報や時事問題など多角的視点から情報を発信しています。

日本財団会長の
 笹川陽平ブログ



全国ボートレース場の紹介



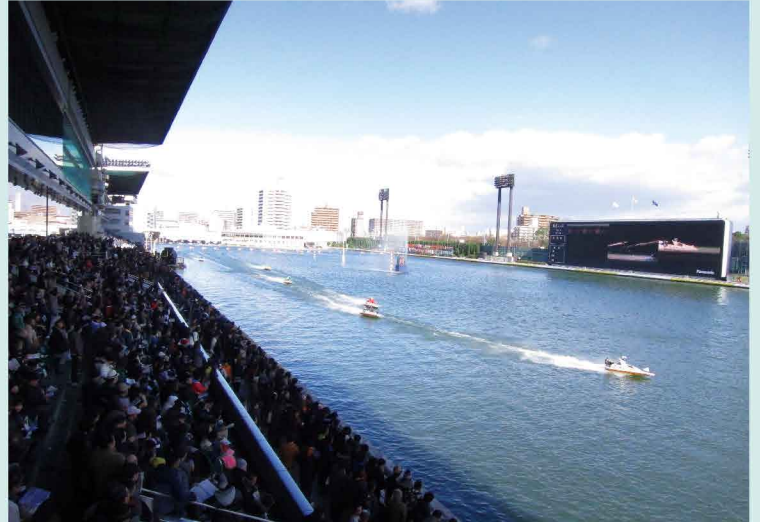
大阪の中心から地下鉄で20分程度と抜群のアクセスを誇り、近畿地区では唯一のナイターレース開催場(一部の開催は除く)。プール水面で水質は淡水。グランプリの過去30回のうち25回は当地で開催されており、ボートレースのメッカとも呼ばれている。開催中は場内でミニFMのアクアライブステーションを放送、レース予想や選手インタビューなどを聞くことができる。また時おり「選手ふれあいコーナー」と称して、地元選手を招いてのトークショーなども開催している。GI周年記念の名称は「太閤賞」。1Fには外向発売所のボートパーク住之江がある。

●3F・4F有料席

Mシート(全80席)1人2500円(場外専売日:2000円)
 Sシート(全110席)1人2500円(場外専売日:2000円)
 Aシート(全198席)1人2000円(場外専売日:1500円)
 *以上は本場開催日、場外専売日ともに10時~21時オープン
 Bシート(全274席)1人1500円
 団体席 桜(定員42名) 菊(定員38名)
 いずれも18人まで18000円。
 19人以上は1人につき1000円。



ジャンピー



交通アクセス

住所:〒559-0023 大阪府大阪市住之江区泉1-1-71

電車で越しの方 地下鉄四つ橋線・ニュートラム南港ポートタウン線「住之江公園駅」 →
 北改札2号出口より徒歩3分

車でお越しの方 >>> 大阪・京都方面から
 阪神高速15号堺線「玉出」出口から12分 →
 >>> 神戸方面から
 阪神高速4号湾岸線「南港中」出口から8分 →

ボートレース住之江



●詳しくはウェブサイトでご確認下さい。 <http://www.suminoe.gr.jp/> ボートレース住之江 🔍

取材の申し込み・お問い合わせはこちらまで



広報部 〒108-0073
 広報宣伝課 東京都港区三田3-12-12 笹川記念会館

TEL 03-3451-0501

FAX 03-3451-0429

BOAT RACE 振興会ウェブサイト
 ▶ <http://www.boatrace-pr.jp/>
 BOAT RACE オフィシャルweb
 ▶ <http://www.boatrace.jp/>

BOAT RACE
 振興会ウェブサイト



「ISO/IEC27001:2005」を
 認証取得

BOAT RACE 振興会は、2010年7月25日付で、
 全部門を対象とした情報セキュリティマネジメント
 システム (ISMS) の国際認証基準
 「ISO/IEC27001:2005」を認証取得しました。

編集後記

2年前、私が入社してから初めてのグランプリを制覇したのは、
 茅原悠紀選手でした。優勝戦を走った6名のレーサーの中で最も
 若く、枠番も6号艇。キャリア・コースともに不利な状態から、1マーク
 で見事な差しを決めて1着になり、あっという間に優勝賞金1億円と
 黄金のヘルメットを手に入れました。

もともと茅原選手が好きだったわたしは「茅原選手が来る気が
 します!」と言いきり、穴党だねーなんて笑われていましたが、本当
 に優勝したのを目の当たりにするとポカンとしてしまいました。何だ
 今のレース展開は。格好良すぎる。凄すぎる。ああ、グランプリってやっぱり特別なんだと
 実感した瞬間でした。

ボートレースはもちろんどのレースも真剣勝負ですが、やっぱりグランプリの緊張感は格別
 なものがあります。そしてその緊張感は現地に行かないと味わえないものでもあります。この
 グランプリとクイーンズクライマックスは、ぜひ一度生でその興奮を味わってみたいですね!
 ご興味のある方や取材についてはお問合せお待ちしております。今年はどんなレースが見ら
 れるのか、今から楽しみです。



入社3年目 編集ディレクター
 安藤 瞳